



—東地中海・北アフリカ地域ニュース—

エジプト・トルコ：駐エジプト・トルコ大使の退去を求める決定

(現地報道)

11月23日、エジプト外務省は、駐エジプト・トルコ大使の国外退去を求める決定を行ったとする声明を発表した。概要は以下のとおり。

1. エジプト政府は、モスクワ訪問直前の21日夜に出された、エルドアン・トルコ首相の「クーデターによって権力を握った人々に決して敬意を表さない」というエジプト内政を批判する発言は、トルコ政府によって発出された一連の声明と同様、偉大なエジプト国民に対する挑戦であり、彼ら（エジプト国民）の合法的な選択に対する軽蔑であり、内政干渉であると主張する。今回の声明は6月30日革命以降の現実とかけ離れたものであり、事実を虚偽化する一連の声明の中心に位置するものである。
2. エジプトは、友人たるトルコ国民によって形成されてきた歴史的関係の現実を評価してきたが、トルコの現政権はイデオロギーに囚われないエジプト・トルコ間の国益を考えていない。こうした立場はエジプトにとって受け入れ難く、エジプトの利益を害する方向に国際社会を導き、エジプトの不安定化を助長するような会合を支援している。
3. こうした現状に鑑み、エジプト政府は以下を決定する。
 - (1) トルコとの外交関係を大使級から実務者級に格下げする。
 - (2) 8月15日に本国に召喚した駐トルコ・エジプト大使を、カイロの外務省総務部長に異動させる。
 - (3) カイロの駐エジプト・トルコ大使を本日（23日）外務省に召致し、同人を「ペルソナ・ノン・グラータ（好ましからざる人物）」と見なし、国外退去を通告する。
4. エジプトは、トルコ国民に対する誇りと感謝を表明するとともに、こうした外交的関係の結末に至った責任はトルコ政府にある点を強調する。

本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799